

病院だより とよなか

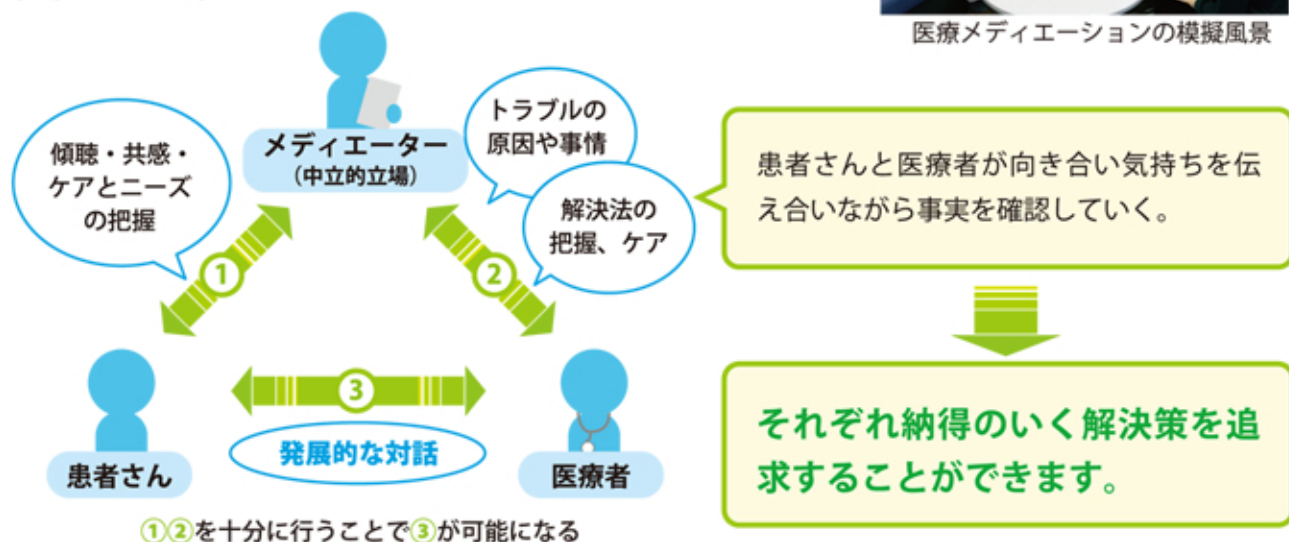
メディエーターは、日本医療メディエーター協会から認定を受けた「医療安全管理室」の室長がおこなっています。

当事者の会話を傾聴し、双方の言い分に共感を示し、患者さんと医療者の対話の橋渡しをします。

両当事者が納得のいく解決法を導き、信頼関係を回復するための手助けをします。



医療メディエーションの模擬風景



4年間でおこなってきた医療メディエーションの結果

患者さん側の約80%の方が納得されています。

メディエーターを間において「冷静に話し合うことができた」「気持ちを伝えることができた」などの意見が聞かれています。

もちろん、医療者側もこういう場を設けることには、非常に積極的で、「ごまかさない」「かくさない」「うそをつかない」という姿勢で臨みます。

ごまかさない

かくさない

うそをつかない



安全で安心な医療について共に考えましょう

医療は、患者さんと医療者がよく話し合っ決めていくものと考えています。

患者さんが治療法についての良し悪しを十分検討し、選択できるための情報を提供します。

医療安全管理室では、医療に関するご不満等の相談にも応じています。実際に患者さんから直接ご意見を聞かせていただくことは、医療者にとっても非常に有意義なことであり、「心温かな信頼される医療」の提供に役立つと考えています。

